



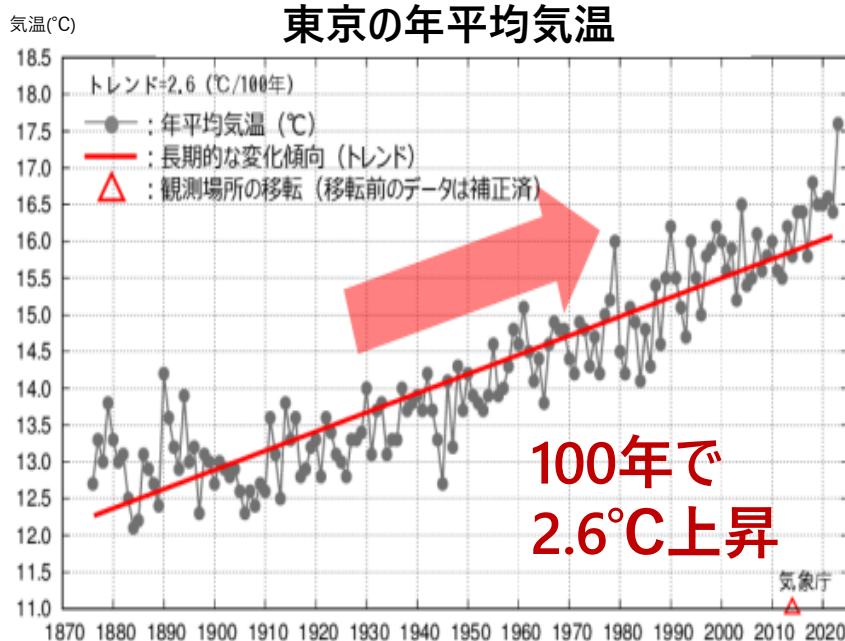
令和7年11月21日
都市町村協議会

ゼロエミッション東京 の実現に向けて



気候危機の加速

- 気候変動により、日々の生活は危機と隣り合わせに
- 命を脅かすほどの気温上昇に加え、風水害の脅威も



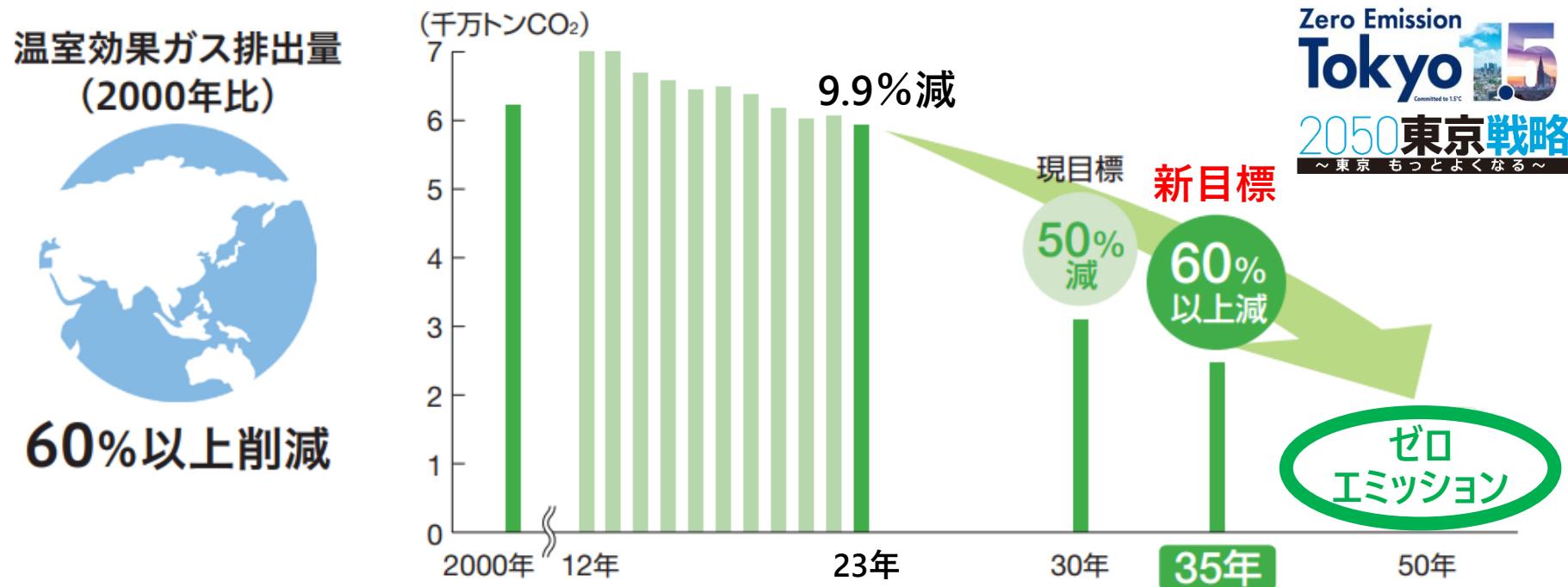
都内で40°C超えを記録するなど、この夏も猛威を振るった災害級の暑さ

- ・ 東京都心の猛暑日は過去最多の29日
- ・ 青梅市で最高気温40.4°Cを記録(2025.8.5)
- ・ 東久留米市付近で1時間に約100ミリの猛烈な雨を記録(2025.8.18)

脱炭素化と都市の強靭化を進め、人々の命と生活を守っていくことが重要

ゼロエミッション東京の実現に向けて

- グリーンでレジリエントな都市・東京を目指し、本年3月
「ゼロエミッション東京戦略 Beyond カーボンハーフ」を策定



- 都民・事業者との共感と協働のもと、東京の総力を結集
- 地域に根差す市区町村と連携し、実効性ある取組を推進

高い断熱性能等を備えた「燃費のいい家」の普及

- 建物の脱炭素化は、健康・防災等のメリットがあり、レジリエンス強化に寄与
- 新築住宅への太陽光発電設備の設置義務化を契機に、取組を加速

ゼロエミ住宅

- 国の断熱・省エネ基準を上回る
東京ゼロエミ住宅の建設を支援

断熱改修

- 断熱防犯窓・高断熱ドア・壁等断熱
への支援を拡充し、断熱改修を推進

ゼロエミポイント



- 東京ゼロエミポイントによる省エネ
家電への買替を促進
- 热中症リスクの高い高齢者等に対
し、**支援を拡充**



地域の省エネ再エネの後押し

- 住宅への省エネ・再エネ製品等(ポータブルPV等)の導入を推進する**市区町村**を支援

再生可能エネルギーの普及拡大

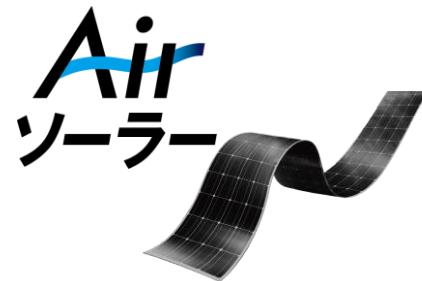
- 都内CO₂の約7割が電力由来であり、CO₂削減には再エネの基幹化が必要不可欠
- 「発電する未来都市」の実現に向け、新技術とポテンシャルを最大限活用

Airソーラーの初期需要創出

- 薄く・軽く・曲がる日本生まれの次世代型太陽電池。投票で親しみやすい新名称を決定
- 素材のヨウ素は国内調達が可能。再エネ創出のゲームチェンジャー
- 災害時の一時滞在施設、都有施設への先行導入、市区町村施設等において実証を行う事業者を支援



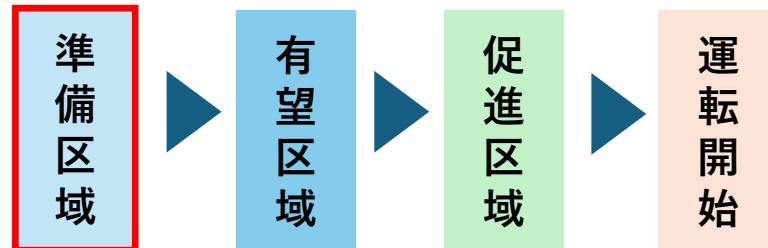
Airソーラー搭載庭園灯
(東京体育館)



ペロブスカイトと呼ばれる
結晶構造を用いた太陽電池

浮体式洋上風力の早期実装

- 2025年6月、大島町沖、新島村沖、神津島村沖、三宅村沖、八丈町沖の5海域が「準備区域」として整理



- 地元の理解・協力を得ながら、自然環境や生態系、地域と共生した取組を推進



説明会



出典：五島市
魚礁効果による
漁業との共生

ゼロエミッションモビリティの推進

- ZEV*の導入や充電インフラの整備等を通じ、モビリティの脱炭素化を推進
- ZEVの蓄電・給電機能を活かし、エネルギーインフラの強靭化や災害対応にも寄与

*走行時にCO₂等の排出ガスを出さない電気自動車(EV)、プラグインハイブリッド車(PHEV)、燃料電池自動車(FCV)

自動車の脱炭素化を加速

- GX実現に取り組むメーカーの車両に補助を加算し、利用・供給両面で普及を加速
- EVバス・EVトラックの購入支援により、ZEV商用車を普及
- 災害対応力強化等に向けてZEVの導入を行う市区町村等を支援



EVバス
(出典：いすゞ自動車HP)



EVトラック
(出典：三菱ふそうHP)

ZEV普及を支える充電インフラの整備

- 新築建物への義務付けによりEV充電設備の設置を標準化
- 集合住宅等の充電設備やV2B・V2H設備の設置を支援
- 住宅や商業施設、公道、市区町村施設等へのEV充電設備の設置を支援



公道・合同庁舎における充電設備の設置



水素エネルギーの普及拡大

- 需給両面の取組を通じて水素エネルギーの社会実装を推進

水素ステーションの整備促進

■ 水素エネルギーの普及に向け供給体制を構築

- ✓ 整備・運営費の一部を助成
- ✓ 都有地を活用して、燃料電池大型トラック対応ステーション(新砂)やグリーン水素を活用したステーション(西新宿)を整備予定



水素ステーションの状況（令和7年10月）

20か所、30基（多摩4基、区部26基）

多様なモビリティへ実装

■ 商用モビリティを軸に水素の積極的利用を拡大

- ✓ 燃料電池タクシーの大量導入を契機に「TOKYO H2プロジェクト」を始動

【FCバス】135台、【FC小型トラック】133台
(R7.10月時点走行台数)



燃料電池タクシー出発式

- ✓ FCごみ収集車を10市区に一定期間無償貸与→現在、多摩市・東久留米市・町田市・清瀬市に貸与中

サーキュラーエコノミーへの移行を加速

- 資源の大量生産・消費・廃棄から脱却し、循環経済へと移行することが重要
- 優れた循環型社会だった江戸の知恵・工夫も取り入れ、2R・高度リサイクルを推進

使い捨てプラスチックの削減

- 2Rビジネスの主流化や水平リサイクルの社会実装を推進

- ✓ 容器包装・製品プラの分別収集拡大等に取り組む市区町村を支援
- ✓ 2Rビジネスや水平リサイクルの事業着手・拡大に取り組む事業者を支援
- ✓ 都庁舎から排出されるペットボトルのボトルtoボトルやイベント等でのリユース容器利用を推進



食品ロス・食品廃棄物の削減

- 発生抑制、未利用食品の有効活用、食品廃棄物の再生利用を推進

- ✓ 飲食店等と協働した「食品ロスゼロ！キャンペーン」を開催



- ✓ 都や市区町村が保有する防災備蓄食品をフードバンク等に寄付

- ✓ 食品残さの肥料・バイオガス化等に取り組む市区町村を支援

持続可能な資源利用の推進

- 小型家電の普及、循環経済ビジネスの拡大など、新たな社会変化への対応が必要
- 市区町村や事業者とも連携し、適切な処理・リサイクルや有効利用を促進

リチウムイオン電池の適正処理

- 市区町村と連携した広域回収や普及啓発により、適正処理を促進

- ✓ 火災事故防止に向けた「リチウムイオン電池 混ぜて捨てちゃダメ！」プロジェクト



- ✓ 複数自治体から広域的に回収・資源化するモデル事業

- ✓ 分別回収、リサイクルに取り組む市区町村を支援

廃食用油・廃棄物の有効利用

- 廃食用油や廃棄物を原料としたS A F^{*}の推進

※持続可能な航空燃料

- ✓ 市区町村と連携した家庭の油を回収するキャンペーン

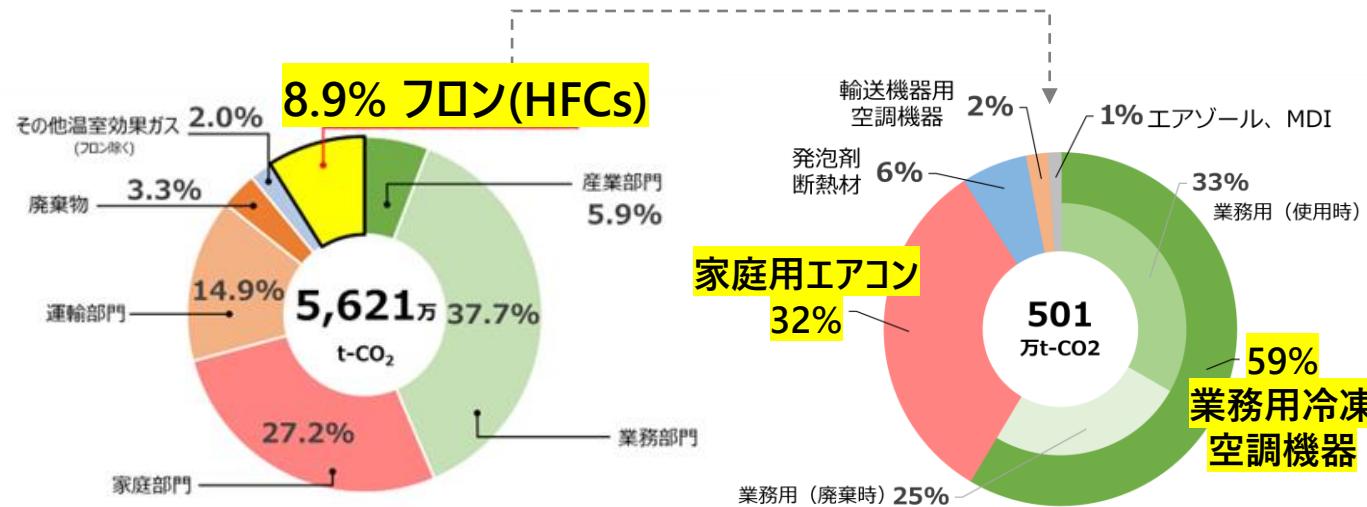


キャンペーン(5/2～10/31)回収量
約11,300 ℥

- ✓ 廃食用油の再資源化に取り組む市区町村を支援
- ✓ 都内の廃棄物を使用したS A F製造に取り組む事業者を支援

フロン対策

- 業務・家庭用空調機器等から排出されるフロンは、都内温室効果ガスの約1割
- 機器の製造時、使用時、廃棄時のライフサイクル全般の対策を強化



ノンフロン機器等の導入促進

- ノンフロン機器、AI等を活用した**使用時漏えい**に係る遠隔監視技術の導入支援
- 市区町村等が省エネ型ノンフロン機器を導入する取組を支援

家庭用エアコンに関する普及啓発

- 啓発動画等を活用し、適正処理や古いエアコンの買替等を促進

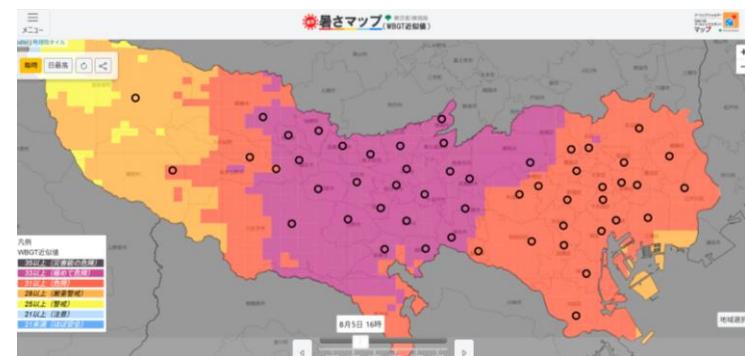


気候変動に適応するレジリエントな都市の実現

- 東京都気候変動適応計画やTOKYO強靭化プロジェクトupgradeⅠに基づき全庁一丸となって、暑さ対策や風水害などへの対策を推進

暑さ対策～猛暑から都民の命を守る～

- 身近な場所の危険度が分かる「東京暑さマップ」やクーリングシェルター等のマップを公開
- 暑さに体を慣らす「暑熱順化」を促進する講習会を開催
- 水分補給、エアコン利用、日傘・帽子の活用の徹底を呼びかけ
- エッセンシャルワーカーを対象とした熱中症対策用品の配布等に取り組む市区町村を支援
- 都気候変動適応センターと連携した市区町村への情報提供・助言、都民への普及啓発



東京暑さマップ



暑熱順化等講習会

日傘イベント
「私の推し傘セレクション」

市区町村との連携強化

市区町村連携による環境政策の加速化

- これまで、東京の広域的環境課題の解決に資する市区町村の取組に対して財政支援を実施

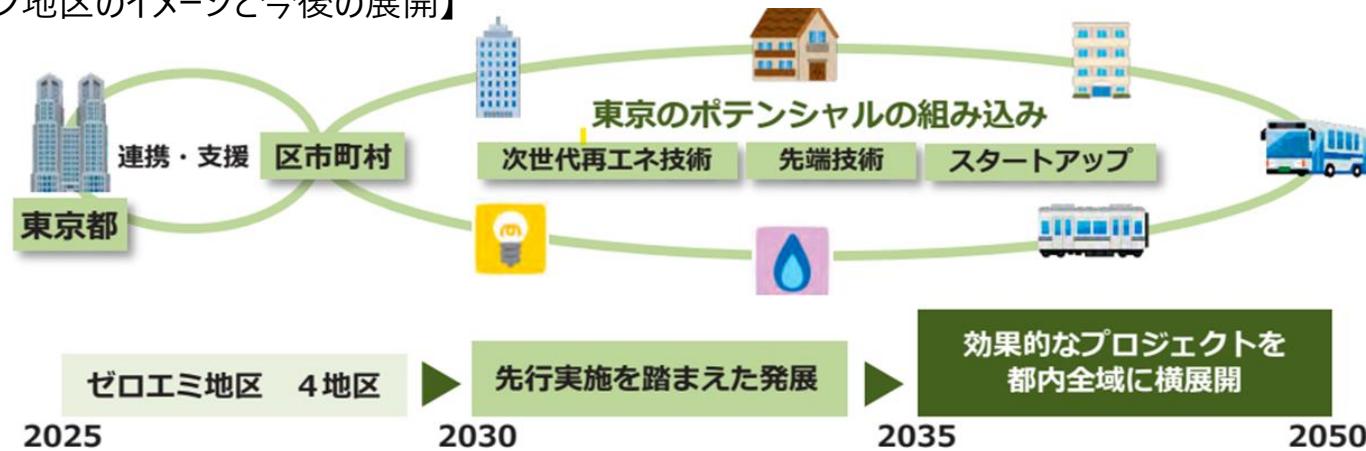
【環境政策加速化事業の主な支援メニュー】

家庭の省エネ・再エネ促進、ZEV活用による災害対応力強化、プラスチックの持続可能な利用推進、食品ロス・リサイクル対策推進、フロン排出削減対策支援、熱中症・ヒートアイランド対策推進 等

ゼロエミッション地区創出プロジェクト

- 今年度から、都独自のゼロエミッション地区の創出に向け、市区町村の面的な脱炭素化を最長5年間財政支援とともに、各主体の取組や合意形成等を伴走支援

【ゼロエミッション地区のイメージと今後の展開】





電力を
へらす
つくる
ためる

Tokyo Tokyo

より強固なパートナーシップを構築、
オール東京で脱炭素化を強力に推進